

現場の「困った」に
ハンディ充填機

期談
納相
コスト相
オンリーワン技術
メイドインジャパン



炊飯器と同等サイズのハンディ充填機

業務内容

食品・化学・化粧品工場に
約5000台導入

例えば、コンビニの弁当や惣菜を製造する食品工場では、ハンバーグソースの添加やプリン等の充填等をすべて手作業で行っている。効率化を図るためには全自動の充填機を導入したいところだが、その多くは多機能で高額のため、中小零細の工場には手が出ない。

そこで注目されているのがナオミの充填機だ。同社は半自動充填機を製造・販売するメーカーで、ベストセラーのハンディ充填機は機能を絞り込み、リーズナブルな価格帯に抑えた。すでに食品・化学・化粧品等の工場に約5000台を導入している。

製品長

一度使うと手放せない
ハンディ充填機

「現場のパートさんが一度でも使うと『もう手放せない』と言ってくれます」と駒井社長が語るように、同社のハンディ充填機は現場の声に訴える特長が並ぶ。まず目を引くのがサイズだ。炊飯器と同程度で重さは約12kg。取っ手がついているので女性でも持ち運びがしやすい。

また、他社にない洗浄性も大きな魅力だ。原料がチューブの中だけを通るため、機械を分解せずにチューブだけ洗えば済むのだ。さらに「操作が複雑で難しい」という現場



女性でも手軽に充填できるハンディタイプ

の意見を踏まえ、ワンタッチ操作ができるパネルを採用。機械が苦手な女性でも操作しやすくつくられている。

このように、現場のニーズに応えた扱いやすさにより、作業効率を平均で約3倍もアップさせ、他社に比べてリーズナブルな価格帯に抑えたことで中小工場への導入を進めることができた。

強み

女性の視点を活かした
製品開発力

工場現場の作業員は女性を中心ということもあり、駒井社長は女性ならではの視点を製品開発に取り込んでいる。

例えば、男性であれば重さが気にならない充填ガンの小型・軽量化に取り組み、「長時間の作業でも腕が疲れない」と女性作業員の心をとらえた。さらに充填時の液ダレに悩む現場の悩みを聞き、充填完了後の液ダレをピタリと止める「シャット弁」も独自開発し、特許を取得。「現場にとって何が使いやすいか。女性目線、素人目線で考えると現場ニーズが見えてきます」と駒井社長は話す。

今後の展望

今後はヨーロッパ市場への
輸出も視野に

これまでは日本市場で展開していたが、今後はヨーロッパへの輸出も検討中だ。同社の充填機は小型タイプが中心で、多品種小ロットを前提とした生産工場でも効果を発揮する。そのため日本と同じく経済が成熟し、嗜好が細分化した国に商機を見出しているのだ。

COMPANY PROFILE

株式会社ナオミ

大阪24

当社の
歴史

当社は排水ポンプの技術者だった父が起こしました。チューブポンプのメカニズムを応用したハンディ充填機を開発し、食品・化学・化粧品工場とニッチな市場を開拓してきました。平成22年末の世代交代後は、社員が一番大切という考えで経営に取り組んできました。会社生活が充実してこそ「お客様にもっと喜んでほしい」と仕事に励んでもらえますから。

「ナオミは自分の会社」と社員が強く思える
組織づくりをしています。

代表取締役社長 駒井 亨衣さん



■主な事業内容
ポンプ・充填機・その他産業機械の製造・販売等

■主な取引先（納入先）
食品メーカー、化学系メーカー、化粧品メーカー、食品系商社、化学系商社、化粧品系商社等

住所 / 〒562-0031
箕面市小野原東
1-2-83
TEL / 072-730-2703
FAX / 072-730-2777
創業 / 昭和47年12月
設立 / 昭和47年12月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 21名

<http://www.naomi.co.jp/>